

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンリブもりつね	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市小倉南区守恒1丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分	年間使用時間	0時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2012年1月10日
敷地面積	12,523 m <sup>2</sup>	作成者	河村 晃
建築面積	7,316 m <sup>2</sup>	確認日	2012年2月10日
延床面積	14,452 m <sup>2</sup>	確認者	石川 哲夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境との調和をはかるため、建物配置、形状、色彩等を工夫し、且つ防犯性を考慮し視線を遮らない外構計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	交通量の多い道路からの騒音を防ぐため、バス停付近を除き建物を道路から後退させる配置とした。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の景観に調和するよう、建物の外装等の色彩、形状は、周囲への圧迫感を軽減するよう考慮した。
LR1 エネルギー	建物内外の熱の出入を抑制するため、外壁に断熱性能が優れているALC版を使用。	LR3 敷地外環境 建物利用者の駐車場、駐輪場は、適切な量を確保した。
Q2 サービス性能	竣工後の改装、メンテナンスを考慮し、1階の階高5.6m(ch+1.65m)、2階の階高5.3m(ch+1.5m)とした。	
LR2 資源・マテリアル	揮発性有機化合物の発生を抑制するため、F 建材を全面使用とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい